

湖二っ子だより

合言葉
自分が好き
友だちが好き
学校が好き

令和元年 11 月 1 日

湖二っ子 三つの『あ』・・・「あいさつ」・「あんぜん」・「ありがとう」の実践

あっという間に 10 月も終わり、2 学期も折り返しです。子どもたちは校外学習や親子活動などの行事に楽しんで取り組み、図工や書写の作品作りにも一生懸命取り組んでいます。11 月には湖二っ子フェスティバルやマラソン大会等があり、また、行事で育つ子どもたちの姿を見ていただけるのではないかと楽しみです。湖二っ子フェスティバルやマラソン大会では、当日だけでなく、当日までの取り組み全般を認めていただき、声かけしていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

剛と柔のバランス

2019 年のノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏がインタビューの中で、よい科学者であるための重要な資質として、次のように述べておられます。

「研究者は、頭は柔らかくないといけない。それとは真逆で、しつこく最後まであきらめないことも必要。剛と柔のバランスをとるのが難しい。堅いだけだとくじいてしまう。壁にぶちあたったとき、『なんとかなるわね』という柔らかさが必要だと思います。」

とても示唆に富んだ言葉だと思います。子どもたちの育ちにおいても、同様のことが言えるのではないのでしょうか。学びの中で、時には学習したことがしっかり理解できないことがあります。そんなときに、すぐにあきらめてしまう子がいます。また、わからない自分を受け入れることができずにキレてしまう子がいます。生活の中で、友達とのコミュニケーションがうまくいかなかったり、けんかになってしまったりすることもあります。そんなときに、自分の主張を曲げることができなかったり、友だちを許すことができない子がいます。

剛と柔のバランスをとるのは、非常に難しいことだと思います。学習の場や生活の場で、たくさんのことを経験し、様々な訓練を積み重ねながら、**剛と柔のバランス**を育てていくことは、学校教育の重要な役割の一つです。

例えば、漢字テストをするとき、1 問目でつまずいたら「わからない」といってあきらめてしまう子には「2 問目はできるかもしれないよ。」と声をかけ、わからない自分が許せずキレる子には「わからないこともあるよ。とばして次に進もう。」と声をかけ、漢字テストに取り組ませます。また、けんかをして自分の主張が曲げられない子や相手を許すことができない子には「まあいいか、とってみたら気持ちが楽になるよ。」と声をかけ、気持ちの収め方を伝えます。そんなことを繰り返しながら、子どもの育ちの手助けをしていきたいと思っています。

11 月行事予定

- 3 日（日）ことうふるさとまつり
- 6 日（水）にこにこ遊び
- 9 日（土）PTA 秋の資源回収
- 11 日（月）マラソン試走・クラブ活動
- 12 日（火）ポンぽんの会
湖東中学校区教育講演会
- 13 日（水）湖二っ子フェスティバル
- 15 日（金）安全点検・1 年色覚検査

- 18 日（月）クラブ活動
- 20 日（水）湖東地区教職員研修のため 15:00 集団下校
- 21 日（木）教育相談日
- 25 日（月）委員会活動
- 26 日（火）ポンぽんの会
- 27 日（水）マラソン大会・集金日
- 29 日（金）子ども安全パトロール

